

シリーズ「山盛苑の動物たち」

介護老人保健施設「山盛苑」 施設長宮下正弘 ・ 7月2日～7月20日

北東北も本格的な梅雨模様。なかに籠って写真を整理していると、動物たちが出没していることに気づきます。苑は人間の居住域と動物の生息域の境にあるからかも知れませんね。

1、先ずはその①クマさん。

ある日下の谷の路が揺れているのを職員が見つけ、カメラを構えたところに子熊が顔を出しました。別の日は苑の車いす散歩ロードに足跡とスイカをきれいに食べた皮が。クワバラ、クマバラ！！

次回はカモシカを。



2、人間と動物の結界にある山盛苑。そこに訪れる動物の②カモシカのa ある雪の朝
廊下の向こうにカモシカ発見。向こうもこっちを見て、可哀想に、閉じ込められて！というような顔。
やがてフェンスの向こう、沢のおうちに去ってゆきました。



3、九州熊本の特別養護老人ホーム「千寿園」の水害事故には、同業として心が痛みます。当山盛苑は比較的安全な立地ですが、「想定外」の時代、様々なシミュレーションをしてみます。

さて、山盛苑の動物③カモシカのb。今朝 7 時 25 分から 30 分にかけて、カモシカ君(さん?)が朝食に現れました。しばらく葛の葉など食した後、いつもの竹藪の中に消えてゆきました。オスかメスか？日本鹿は角はオスのみですが、カモシカは雌雄ともにあり、なかなか外見ではわかりません。





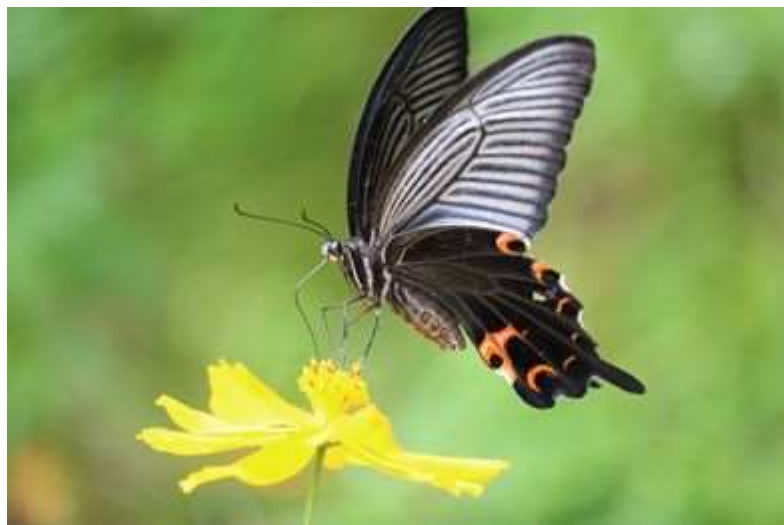
4、山盛苑の動物④カモシカc 梅雨のつかの間の晴れ間、昼下がりに沢からカモシカ君が上がってきました。遅い昼食のためか、しばらく草を食べ、こちらを向くとこれがなかなかの男前。岩山だったら投稿写真にしてもいいくらい。私や女子職員がうろうろしても逃げません。きっと人間にいいめられた経験がないのかもしれませんがね。



5、山盛苑の動物⑤かえる このところ、オタマジャクシから孵ったカエルたちが花の舞台で遊んでいます。さて、何匹いるでしょうか？カエルの世界も、人間の小学校高学年みたいに群れて動き回る時期があるんでしょうね。



6、山盛苑の動物⑥蝶 初夏の花が咲きそろってくると、蝶々が飛んできます。「花と蝶」、森進一の歌のようですが、男女も自然も、所詮お互いに持ちつ持たれつということなんでしょうね。



7、山盛苑の動物⑦蜂 このシリーズも7回目。何時まで続けるの？、と聞かれましたので、一応10回を目途。あとは珍獣が出現したとき随時、と答えておきました。さて、蜂が菜の花ややギボシの花にもぐりこんでいます。・・・と思うと、ユリやアジサイの葉の下に住処を建設中のあしながバチもいます。巣の上からこっちを睨んでいるのを見ると、撤去するのは情において忍びない。もう少し見守るか…。



8、山盛苑の周りのヤマユリもつぼみが膨らんで咲く準備におおわらわです。でもその傍らに、つぼみがカモシカの食材となり、茎だけのものもあります(5本)。これも自然の輪廻…。さて、山盛苑の動物⑧キツネ これはなかなか姿を現しません。実に用心深い。カモシカや次回のアナグマと大違い。人の姿を見るとサッと逃げてゆきます。その早いこと、早いこと。慌てたので、ピンボケの写真しかありませんが、キツネであることは分かっていたでしょう



9、山盛苑の動物⑨あなぐま 私は山盛苑に来て初めてアナグマを見ました。信州でも見ませんでした。でもここではしばしば訪れて、一心不乱に土中のミミズを探しています。地元では”マミ”といいますが、タヌキ、ムジナ、イタチがごっちゃになっているようです。そういえば東京港区のロシア大使館辺りは「狸穴」と書いて、マミアナと読ませていますよね。全国同じか…。女子職員が見ていても、土に鼻を突っ込んでぐんぐん近づいてきます。顔を上げると、アッ、居たの！みたいな顔をして少し離れます。農業の害獣にもされていますが、うちもイチゴの苗がひっくり返されました。珍獣をどうぞご覧あれ！！



10、山盛苑の動物⑩招かれざるもの 風蝶草の別名があるクレオメ。ある朝、なんと！丸坊主になっているではありませんか。隣を見ると、そこには青虫が朝食に余念がありません。そう言えば去年フェンス際に植えたシャインマスカットは・・・と見に行くとこれも茎ばかりの丸裸。虫か？カモシカか？我々からは招かれざるものですが、彼らには、人間は自分たちのえさ場を占領し、消毒薬をまき散らす困った存在なのでしょうね。・・・とすれば、彼らからすれば、最大の困った珍獣は人間なのかもしれません(一例を掲載)。ヤマユリも咲き、蜂は住居を増築中です。蝶は楽しくミゾハギの間を舞っています。クマは2日連続で近くで目撃されています。取りあえず、今回のシリーズはこれで終了します。ご愛読をありがとうございました。



ありがとうございました。

